



ハリス グローバル バリューストックファンド(年4回決算型)の 基準価額の下落について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気や企業業績への懸念から、世界の株式市場は不安定な展開が続いています。5月1日から6日は、トランプ大統領が新型コロナウイルス感染拡大の原因は中国にあるとし、米中関係の悪化が懸念されたことや、景気悪化を示す経済指標が発表されたことを受けて、下落しました。為替市場では、円は対ドル、対ユーロとも円高となりました。このような中、大型連休明けとなる5月7日のハリス グローバル バリューストックファンド(年4回決算型)の基準価額は、前営業日(5月1日)と比べ394円下落(▲5.48%)の6,794円となりました。また、当ファンドで多く保有している金融や航空会社を含む景気敏感セクターの銘柄が大きく下落したことも、基準価額の押し下げ要因となりました。

表① 主要各国株価指数

	4月30日	5月6日	騰落率
米国(NYダウ)	24,345.72	23,664.64	▲2.80%
スイス(SMI)	9,629.40	9,571.70	▲0.60%
ドイツ(DAX)	10,861.64	10,606.20	▲2.35%
英国(FT100)	5,901.21	5,853.76	▲0.80%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	5月1日	5月7日	騰落率
米ドル	107.28	106.27	▲0.94%
スイスフラン	111.03	108.91	▲1.91%
ユーロ	117.41	114.71	▲2.30%
英ポンド	134.83	130.92	▲2.90%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(本社はイリノイ州シカゴ。以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

株式市場は変動の大きい展開が続いていますが、ハリス・アソシエイツ社では、引き続き、独自のファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本源的価値を大幅に下回る価格で取引されていて、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような質の高い企業を探し出して投資します。現時点において、新型コロナウイルスが今後どれくらい経済活動に影響を及ぼすかを判断するのは困難ですが、ハリス・アソシエイツ社は企業価値を測定するうえで高い専門知識を持っています。足元の状況を踏まえ企業価値の修正を行っていますが、株価は過剰に反応しており、ファンダメンタルズと株価の間には魅力的なギャップが生じています。当面は値動きの荒い展開が予想されますが、ハリス・アソシエイツ社では、新型コロナウイルスが企業価値に与える影響を注視しつつ、これまで同様、一貫したバリューストックのアプローチによる運用を継続して行う所存です。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいますが)、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2005134

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2005134